

主な経歴

- 前職では自動車生産ラインの量産設備の設備開発に従事。プロジェクトリーダー、チームリーダーを担当。
- 中部地整のまんなかビジョンに共感して転職。
- 「今後は、世の中の変化に追従しながら機械インフラ整備事業を進化させていく仕事に携わりたい。」と語る今津係長。

●令和4年4月 中部地方整備局 採用

◇令和4年4月～現在
沼津河川国道事務所
河川管理課 機械係長



前職ではどのような仕事をされていましたか。
大学卒業後、アメリカのオハイオ州で自動車生産ラインのコンベアメーカーで機械設計担当として4年勤務し、その後、帰国し自動車の生産ラインで車を量産する機械設備の企画・開発から量産導入の業務に携わりました。以降は、アメリカのアラバマ州で5年の駐在経験をし、前職の直近業務ではプロジェクトリーダー、チームリーダーを担当していました。

現在は、どのような仕事をされていますか。
沼津河川国道事務所の河川管理課でインフラ機械設備の設計・修繕業務の担当者として、民間企業の方と打ち合わせを実施し、排水機場や水門など土木機械設備の施設管理を行っています。

これまで、人生経験を色々されているなかで、なぜ転職しようと思われたのですか。
今までの業務内容とインフラ整備事業(土木)では業種がかなり異なりますが、今まで培った知識・経験を異業種の中で自らも学びながら活かしてみたいと考えたからです。

その中で中部地方整備局を選んだのはなぜですか。
前職の直近業務では、上位方針を理解し今後の生産設備はどうあるべきかを整理し、描きながらメンバーをリーディングする業務を中心に行っていました。そんな中で、中部のまんなかビジョンを知り共感し、その業務に携わってみたいという想いがあったからです。

入省前と実際の業務でのギャップは。
業務を進める上でのルールや、法律に基づいた決まりごとの理解が大変です。また、土木技術への理解が乏しいため日々勉強中です。

職場の雰囲気、働きやすさはどうですか。
業務を進める上で、分からないことが多いですが周囲に相談しやすい雰囲気です。休みも取りやすくて、テレワークやフレックスタイム制度を活用しています。

前職の仕事内容は活かされていますか。
前職と比べ、業務の進め方に違いはありますが、民間企業で培った感性を大事にして業務に活かしていきたいと考えています。

給与、収入面、そのあたりは。
給与・収入は前職より下がりました。経験者採用の職歴をさらに柔軟に評価し、給与に反映させる制度となることを期待します。

家での生活に変化はありましたか。
前職でのアメリカ駐在、国内勤務では家族と暮らしていました。中部地方整備局に転職して、はじめての単身赴任を経験中です。

今回、人生の大きな選択にあたり、ご家族に相談はしましたか。
相談しました。単身赴任となり家族と離れた生活になることを心配されましたが、最後は背中を押してくれました。

実際に転職してみて、選択に後悔はありませんか。
後悔はしていません。経験者採用を含め、職員を大切に育てていく風土があると感じます。特に機械職はマイノリティーですので皆さん気にかけてくれていると感じます。

中部地方整備局でのこれまでの仕事の中で、印象に残っている仕事はありますか。
各工事で取り扱う予算額が大きいので、やりがいはあると感じます。

今後、中部地方整備局で挑戦してみたいこと・携わってみたい仕事はありますか。
世の中の変化に追従しながら、機械インフラ整備事業を進化させていく仕事に携わりたいです。また、海外技術をうまく日本に上陸させ、地域に貢献するような仕事にも携わってみたいです。

今、中部地方整備局を受験しようと思われている方に対してアドバイスはありますか。
これまで社会人として働いている方でしたら、

その経験を活かせる機会は多々あると感じます。私も異業種からの転職なので是非チャレンジしてみてください。

本日はありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。
こちらこそよろしくお願いいたします。

